

1 テーマ設定の理由

近年、日本では三世帯同居の世帯数は減少傾向にあり、核家族化が進んでいる。

加えて、2010年に行った「他の世代と交流する機会についてのアンケート」では、他の世代と交流する機会が「全くない」「少ししかない」と答えた人が、高齢者は67%、若年夫婦は35%、子供は68%であった。高齢者と子供の数値が特に高いことを示している。また、交流したいという意欲については、「大変興味がある」「興味がある」「どちらかといえば興味がある」と答えた人が、高齢者は75%、若年夫婦は79%、子供は57%であった。子供世代を除いて多くの人が世代間の交流を求めていることがわかる。子供についても、他の世代と交流することで周囲の人への信頼感が育ち、一人一人の存在の大切さを感じることができる。

これらの事から、高齢者と若年層、子供が交流できる機会を設けることが社会的に意義のあることだと考えた。

さらに、私たちが住む筑豊地区は、近年、人口減少傾向にある。その傾向は福岡地区の中でも突出している。高齢化率が40%近くであり、少子高齢化が深刻である。

一方、福岡市の高齢化率は、20%であり、日本全体で見ても比較的に少子高齢化が深刻でない地域である。

これらのことから、筑豊地区と福岡市を世代間の交流の機会により結び付け、各世代をマッチングし、筑豊地区内の魅力を伝えることができれば世代間の交流をより効果的なものにすることができると考えた。

2 プランの概要

筑豊地区内の自然が楽しめる観光スポットをめぐるバスツアーを提供する。

福岡市の若年夫婦、子供連れ世帯を顧客のターゲットとし、ツアーを運営するバスガイド、運転手等のスタッフに筑豊地区内の高齢者を多数採用することで、世代間の交流をはかる。

さらに、バス内では観光客とスタッフの交流がさかんに行われるよう、ビンゴ大会などのイベントを開催する。

移動には内部をロケバス風に改装した廃棄バスを利用し、移動中の車内では、参加

者とスタッフの交流がさかんに行われるよう、ビンゴ大会等のレクリエーションを行う。

〈ツアー内容〉

直方駅を集合場所とし、観光スポットに移動する。

ツアー終了後、直方駅に参加者を送り届ける。

春 花見：鳥羽公園（飯塚市）/大将陣公園（飯塚市）

山菜狩り：健康の森公園（飯塚市）

鳥羽公園では、桜並木が池に映る「逆さ桜」を楽しむことができ、大将陣公園では、約2500本の桜のトンネルにより春爛漫の雰囲気を楽しむことができる。また、健康の森公園では山菜を参加者みんなで採集し、山菜を実際に手に取って、匂いを嗅いだり、かじったりすることで、春を五感を使って確かめることができる。集めた山菜は、山菜ごはん、山菜茶等で楽しむことができる。

夏 滝：白糸の滝（田川市）

流しそうめん：河川敷公園（直方市）

白糸の滝は、滝の真下まで近寄って、水が流れる様子を満喫できるのが魅力であり、涼しさを全身で感じることができる。また、河川敷公園にて参加者みんなでそうめん流しをすることで、都会ではなかなかできない体験をすることができる。

秋 紅葉：英彦山（添田町）/藤江氏魚楽園（川崎町）

果物狩り：ラピュタファーム（田川市）/藤島農園（宮若市）

英彦山の山頂からは雄大な展望が望め、眼下に広がる紅葉を楽しむことができる。さらに、園内の池泉観賞式の庭園である旧亀石坊庭園も観賞できる。藤江氏魚楽園は、2018年の西日本豪雨で被災し、開園できない状態が続いていたが、国、県、町、所有者が協力して復旧工事を行い、翌年の2019年11月に全面開園した。復興した被災地に訪れることで参加者は有意義な時間を過ごすことができる。鮮やかに色づいたモミジ、カエデと庭園の眺めは格別である。また、ラピュタファームでは、梨、ブドウの果物狩りを楽しむことができる。自然に溢れる癒し空間であり、子供が収穫しやすいように木が低めに調整されているのも魅力である。

冬 温泉：日王の湯（福智町）

もちつき：河川敷公園（直方市）

日王の湯は、地元でも人気の高い温泉施設であり大浴場や露天風呂だけでなくサウナや家族風呂等の設備もあり、参加者は心身共にリラックスすることができる。また、河川敷公園にてスタッフの指導のもと参加者みんなでもちつきをする

ことで、日本の伝統文化に触れることができる。

〈価格〉

大人 4900円

子供 2450円

〈申し込み方法〉

インターネットにより参加人数、希望日程等の申し込みを受け付け、契約者に対して案内状を発送する。

〈広告方法〉

ホームページを開設し、ツアーの魅力を写真付きで発信する。

福岡市に新聞折り込みチラシを配布したり、You Tube で福岡市内に広告動画を配信したりすることで、ターゲットである福岡市の若年夫婦、子供連れ世帯にアピールする。

〈必要な経営資源〉

- ① バスを運転するスタッフ
- ② バスガイドとして筑穂地区内を案内するスタッフ
(①・②ともに筑豊地区在住の60歳以上の高齢者)
- ③ 廃棄する大型バスの改造技術

〈収支計画〉

		1年後	2年後
売上高		471万円	1412万円
売上原価(仕入高)		240万円	576万円
経費	人件費	72万円	216万円
	駐車場費	8万円	8万円
	宣伝広告費	100万円	100万円
	その他	450万円	100万円
	合計	630万円	424万円
利益		▲399万円	412万円

※1年目は週に1回のペースで実施

2年目は週に3回のペースで実施

3 研究の課題

この計画には課題がある。まず、この計画の信用を得なければならないことが挙げられる。その解決策として地域の人々の理解が必要となる。さらに、従業員確保や認知度向上も大きな課題である。その解決策として計画を進めるとともに広告手段を増やしていき、最終的にはターゲット以外の幅広い年齢層の人々にも広めていき、さらに多くの世代間交流を行うことを目標として研究を進めていきたいと思う。

4 研究後記

私たちはプランを形づくったあと、九州大学の経済学部教授、ゼミ生に意見をいただいた。まず、自分たちのプランを他者に説明するために、しっかりとプラン内容を突き詰めた。しかし、それでもなお自分たちが気づくことのなかった課題が次々と見付き、プランの改良に大きく前進することができた。

また、この研究で私たちは日本の近年の世代間交流について理解を深めることができた。また、ツアープランを考える際に筑豊地域が持つ魅力を再確認することができた。この計画により福岡市の若年夫婦、子供連れ世帯と筑豊地区の高齢者とをマッチングすることで、より良い社会に近づいていくことができれば良いと思う。

今後も世代間交流の促進のため、もっと世代間交流の現状について調査していきたいと思う。

〈参考文献〉

- ・「少子高齢化社会における世代間交流方策に関する研究」
(<https://www.kochi-tech.ac.jp/lib/>)
- ・「若年・子育て世代、高齢者世帯の現状と論点」
(<https://www.mlit.go.jp/common/>)
- ・「世代間交流を通じた子育て支援の効果」
(<https://www.soup1993.net/wp-content/uploa/>)